

1月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和2年1月末現在〕

令和2年2月12日
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」「売上高」「収益状況」の主要3指標DIを見ると、すべてで改善した。

製造業では、「売上高」「収益状況」は改善したが、「景況」は変化がなかった。非製造業では、「景況」「売上高」「収益状況」はすべて改善した。特に、非製造業の売上高は前月が大幅に悪化した反動により、大幅に改善した。

景況DI

製造業は、前月比で変化なしの-30.8ポイント、非製造業は、前月比4.2ポイント改善の-25.0ポイント、全体では、前月比2.0ポイント改善の-28.0ポイントとなった。

売上高DI

製造業は、前月比27.0ポイント改善の-3.8ポイント、非製造業は、前月比45.9ポイント改善の-8.3ポイント、全体では、前月比36.0ポイント改善の-6.0ポイントとなった。

収益状況DI

製造業は、前月比3.8ポイント改善の-30.8ポイント、非製造業は、前月比12.5ポイント改善の-12.5ポイント、全体では、前月比8.0ポイント改善の-22.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に業界景況ウォッチング連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
食料品	パン	当月は目立った大きな動きは組合内ではなかったが、来年度の学校給食パン供給に向けて担当地域・担当会社等の調整が始まっている。組合員数が減少しているため調整が難しい。
	餡	
	味噌	
	酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県12月の清酒課税移出数量は、前年10月1日の消費税増税から大幅な減少が続き、清酒全体で対前年同月比89.4%であった。本格焼酎についても清酒同様対前年同月比81.7%となった。ただし、高級清酒である吟醸酒は対前年同月比110%と大幅に増加した。清酒の輸出については、従来大口の輸出先であった韓国・香港の落ち込みが大きく、輸出数量は対前年同月比76.4%と大幅に減少した。 ○県内当業界について 4月1日より食品表示基準の原料原産地表示の経過措置期間が終了し、酒の出荷時に表示責任者として「製造者名」または「加工者」の表示が必要となり、各酒蔵とも対応の準備に注力している。桶買いしている酒蔵の販売への影響が懸念される。さらに、不備が発生した場合は消費者庁からの指摘で商品の回収もあり得る。
	納豆	新型コロナウイルスにより旅行客が減少し土産品の売上が減少するとともに、消費量も悪化。スーパー関係の売上は納豆が循環器等にいいと発表されてから全体的に少し売上が改善してきている。 業界全体に人手不足で大変困っており、人件費等が高くなってきている。
	菓子	景気が悪いように感じる。
繊維工業	織物	
	袋物	中国の正月の影響もあり各組合員とも受注量は多い。新型コロナウイルスの影響が不安であるが、ピンチをチャンスにつなげたい。
	衣服	
木材・木製品	製材	・台風19号の被害における出材の低迷は多少落ち着いたものの、未だ高値で推移している。 ・前月は年内納品等の駆け込みもあったが、全体的にまずまずの荷動きとなった。 ・プレカットでは、例年とは異なり比較的落ち着いた状況となった。 ・輸入材は当月も低調。大手製材メーカーのストライキも解決に至っていない。
	県北地区プレカット	当月の受注は少し落ち込み、工場ラインが止まった日があった。来月上旬は多少受注があり何とか稼働できるが、下旬は先行きが分からず不安である。
	県央地区プレカット	当月も大型物件の加工があったため、忙しい状況であった。戸建住宅の加工受注が減少傾向にあるため、大型物件の受注がないと売上維持が厳しい状況である。
紙・紙加工品	段ボール	
印刷	総合	組合員の業況等に特段の変化はなかった。
化学・ゴム	自動車部品	業況は特に変化がなかったが、今後は新型コロナウイルスによる資材等の仕入、外国人需要の低下により売上高に影響が出てくる可能性がある。
窯業・土石製品	県央地区石材	
	県西地区石材	
	コンクリート製品	
	焼物	新型コロナウイルスの影響が深刻で日本のみならず世界へと拡大しているなか、笠間焼の祭典である「笠間の陶炎祭」が無事開催できることを祈っている。
	生コンクリート	

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）	
製造業	鉄鋼・金属	鍍金 受注量・設備の操業度は前年同月と同程度であるが、当月は稼働日数が少ないため普通の月と比較して10%程度少ない。 業界全体の景況はよくない。 金属材料（銅、ニッケル、亜鉛等）は一時値下がりしたが、貴金属等は高値で推移している。 工業薬品関係は大きな変動は無いが、燃料費や灯油費が高値のままである。	
	一般機器	精密機器	
		工業団地	対象6組員（製造会社）の売上状況は、前年同月と比較して増加が1社、減少が6社となった。全体増減率は前年同月比91%であった。受注量が減少した昨年の11・12月より売上は増加したが、前年同月が比較的堅調だったこともあり売上は前年同月比で約10%の減少となった。新型コロナウイルスの影響や地政学上のリスクも懸念され、先行きは予測できない状況である。
	電気機器	重電	
	輸送機器	自動車部品	売上は増加傾向となったが、先行きは不透明。
		輸送車両	
	その他の製造業		
非製造業	卸売業	水産卸	精算所取扱高は前年同月比0.37%の減少となった。前年同様に鮮魚等の入荷が少なく市場価格が高値で推移。仲卸業者・大型量販店・小売店共に販売に苦慮している。前年12月から始まったシラスウナギ漁が豊漁で、2ヶ月弱で前年の2倍に達しているとの発表があった。稚魚が育ち出荷できる夏以降、ウナギの価格が安くなる可能性があるため関係者は期待している。
		県南地区卸	売上高は全体的に見ると増加した。
		食品卸売業	野菜果実合計で前年同月比93%の取扱高となった。前月に引き続き、暖冬の影響を受け、キャベツ・大根等の大型野菜が出荷順調となり安値となった。しかし、暖冬によって鍋物需要が低迷し、白菜・大根等の消費量の落ち込みがみられ、売上が伸び悩んでいる。
		セメント卸	袋セメントの出荷袋数は前年同月比で約8%の減少となった。工法の変化による袋需要の減少や私製袋の安値の影響から出荷数減少が続いている。
	小売業	県北地区共同店舗	売上は前年同月比110%、客数同105.1%、前年同月の売上を確保した店舗は55.1%となった。引き続き努力していきたい。
		県央地区共同店舗	売上は前年同月比で全体99%、食品101%、飲食101%、服装が95%となった。顧客の食品・飲食への支出に変化はないが、服装を中心とした買い回り品についてが支出を抑えている傾向にある。
		県南地区共同店舗	全業種で前年同月と比較して売上減少となり、当月後半が特に厳しかった。また、客数についてはさらに悪化した。 売上は前年同月比で、衣料89.8%、文化品91.2%、食料品94.3%、飲食95.8%、サービス93.2%となった。客数は前年同月比で、衣料84.3%、文化品90.3%、食料品96.2%、飲食91.2%、サービス90.2%となった。
		クレジット	
		家電	令和2年は、東京オリンピック・パラリンピックのテレビ需要や5GやAI・IoT等に繋がる家電の発売も相次いであり、売上高に期待したい。 地域店の強みが発揮できる商材・注目が高まっているが、追い風のみで売上には影響しなかった。来月はスピード感を持った対応で後れを挽回したい。
		石油	原油価格が値上がりしているため、ガソリンの販売価格は前年同月比8円上昇している。仕入価格の値上がり分を販売価格に完全転嫁できていない組合員が多く、市場環境は依然として厳しい状況となっている。
農機具			
中古自動車	売上は前年同月比124.7%、販売台数は同100.7%、販売価格は同123.9%であった。前年同月比で販売台数は横ばいだったが、販売価格が前年同月比124%と大きく上昇したため売上が増加した。しかし、販売価格の上昇は流通車不足による仕入価格の上昇が一部要因と考えられ、収益が好転しているとはいえない状況である。		
飲食品	昨年に引き続き売上は横這いで推移している。天候も安定している状況のため、大きな変化はない。当組合は4月から完全実施となる食品表示とHACCPの対応に追われている状況。加盟店の意識の向上とスキルアップを目指して活動している。		

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
非 製 造 業	商店街	水戸	
		筑西	
	サービス業	自動車整備	組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)は、前年同月比で普通車が94.3%、軽自動車が97.5%となり、普通車・軽自動車ともに減少となった。
		ホテル・旅館	元旦の初日の出や寺社仏閣への参拝等、昨年に続き集客状況はやや増加傾向にあった。年末年始の連休日数の多さが影響していると考えられる。さらに、新年会等の宴会に関して地元企業の利用率が微増ではあるが、好調に推移している。
	建設業	総合	各種工事は年度末にむけ繁忙となっているが、職人不足などにより工程の遅れが問題となっている。 理由の一つに建築工事を設備工事・電気工事を建築工事と分離して発注しているため総合的建設工事調整役が役所担当者となるのだが能力不足のため現場をまとめきれない。そのため各分離業者1社に工事遅延が生じると全業者に影響が生じている。
		電気工事	
		管工事	
		交通安全施設	
		鉄筋工事業	
	運輸業	貨物軽自動車運送	当月の組合員数は119名、車両台数は149台で前月と比較して変化がなかった。また、全国連合会での当月の組合員数は7,900名、車両台数は9,375台で前月と比較して64名減少、80台減少であった。
県北地区一般貨物		主要顧客の動向について、出荷物量はやや低調となるが、売上高は輸送運賃改定の影響もあり横ばい。燃料価格はさらに高くなり収益は依然厳しい。	
その他の非製造業			

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	パン	パン給食回数の増加要望
	酒	31年度の需要振興策として、地元(県内)消費に繋がる県内蔵元と連携した施策を要請。
小売業	石油	揮発油税に消費税を課税している二重課税の廃止。
建設業	総合	分離発注をするのであれば総合管理者を定め各作業間連絡調整指導を現場に常駐して行うべきである。できないのであれば分離発注は行わないでいただきたい。

月次景況調査 1月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	1月	12月	前月比	1月	12月	前月比	1月	12月	前月比
景 況	▲ 28.0	▲ 30.0	2.0	▲ 30.8	▲ 30.8	0.0	▲ 25.0	▲ 29.2	4.2
売 上 高	▲ 6.0	▲ 42.0	36.0	▲ 3.8	▲ 30.8	27.0	▲ 8.3	▲ 54.2	45.9
収 益 状 況	▲ 22.0	▲ 30.0	8.0	▲ 30.8	▲ 34.6	3.8	▲ 12.5	▲ 25.0	12.5
販 売 価 格	6.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5
取 引 条 件	▲ 6.0	▲ 8.0	2.0	▲ 3.8	▲ 7.7	3.9	▲ 8.3	▲ 8.3	0.0

中小企業月次景況調査(令和2年1月)DI値(前年同月比)

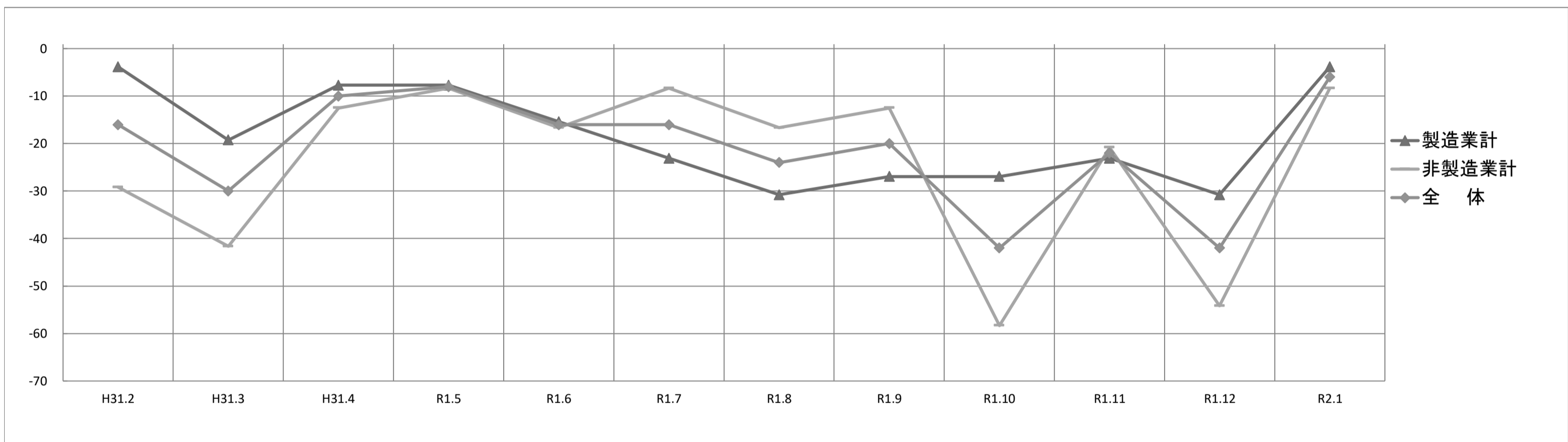
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況													
	DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)														
		増加	不変	減少	業界数		増加	不変	減少	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数							
製造業	食料品	△ 33.3	0	4	2	6	0.0	0	6	0	6	0.0	0	6	0	6	0.0	0	6	0	6	△ 16.7	0	5	1	6	△ 16.7	0	5	1	6	0.0	0	6	0	6	△ 16.7	0	5	1	6	△ 16.7	0	5	1	6
	繊維工業	33.3	1	2	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	1	1	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3
	木材・木製品	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	33.3	1	2	0	3	0.0	0	3	0	3
	紙・紙加工品	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	化学・ゴム	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	窯業・土石製品	△ 20.0	1	2	2	5	0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 40.0	0	3	2	5	0.0	0	5	0	5	0.0	1	3	1	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 20.0	0	4	1	5
	鉄鋼・金属	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	一般機器	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	50.0	1	1	0	2	△ 50.0	0	1	1	2
	電気機器	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	輸送機器	100.0	2	0	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	0.0	0	2	0	2	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2
製造業計	△ 3.8	5	15	6	26	△ 7.7	0	24	2	26	0.0	2	22	2	26	△ 3.8	0	25	1	26	△ 30.8	0	18	8	26	△ 11.5	0	23	3	26	△ 3.8	2	21	3	26	△ 7.7	2	20	4	26	△ 30.8	0	18	8	26	
非製造業	卸売業	△ 50.0	1	0	3	4	△ 25.0	0	3	1	4	0.0	1	2	1	4	0.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4																				
	小売業 (商店街含む)	0.0	3	5	3	11	9.1	1	10	0	11	0.0	2	7	2	11	△ 9.1	0	10	1	11	△ 36.4	0	7	4	11	△ 27.3	0	8	3	11															
	サービス業	0.0	1	0	1	2						50.0	1	1	0	2	50.0	1	1	0	2	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2															
	建設業	0.0	1	3	1	5						20.0	1	4	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5															
	運輸業	0.0	0	2	0	2						50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2															
	非製造業計	△ 8.3	6	10	8	24	0.0	1	13	1	15	12.5	6	15	3	24	△ 8.3	1	20	3	24	△ 12.5	2	17	5	24	△ 16.7	0	20	4	24															
全体	△ 6.0	11	25	14	50	△ 4.9	1	37	3	41	6.0	8	37	5	50	△ 6.0	1	45	4	50	△ 22.0	2	35	13	50	△ 14.0	0	43	7	50	△ 3.8	2	21	3	26	△ 12.0	2	40	8	50	△ 28.0	1	34	15	50	

D I 値推移表 (H31.2月 ~ R2.1月期)

《売上高の推移》

前年同月比	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 16.7	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3
製造業(食料品製造業以外)	0.0	▲ 15.0	5.0	▲ 5.0	0.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 25.0	5.0
製造業計	▲ 3.8	▲ 19.2	▲ 7.7	▲ 7.7	▲ 15.4	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 3.8
卸売業	▲ 100.0	▲ 75.0	25.0	▲ 50.0	▲ 100.0	25.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 25.0	▲ 100.0	▲ 50.0
小売業(商店街含む)	▲ 36.4	▲ 54.5	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 63.6	▲ 27.3	▲ 36.4	0.0
サービス業	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	0.0
建設業	20.0	20.0	▲ 40.0	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0	▲ 20.0	20.0	▲ 20.0	0.0
運輸業	▲ 50.0	▲ 50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 100.0	0.0
非製造業計	▲ 29.2	▲ 41.7	▲ 12.5	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 58.3	▲ 20.8	▲ 54.2	▲ 8.3
全体	▲ 16.0	▲ 30.0	▲ 10.0	▲ 8.0	▲ 16.0	▲ 16.0	▲ 24.0	▲ 20.0	▲ 42.0	▲ 22.0	▲ 42.0	▲ 6.0

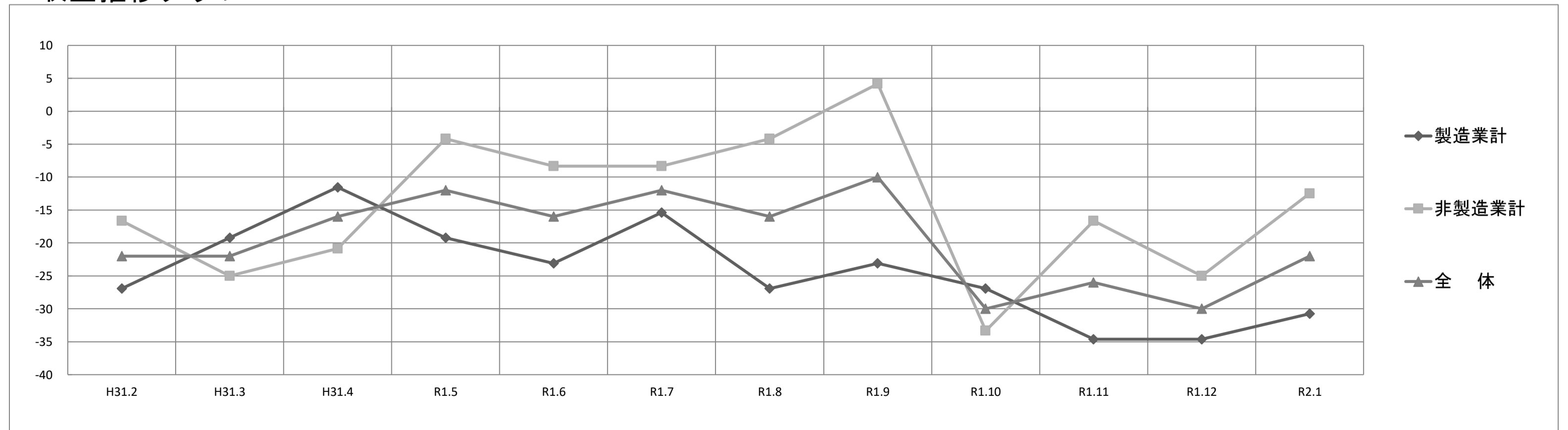
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1
食料品製造業	0.0	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	0.0	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 35.0	▲ 25.0	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 35.0
製造業計	▲ 26.9	▲ 19.2	▲ 11.5	▲ 19.2	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 30.8
卸売業	▲ 75.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0
小売業(商店街含む)	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 9.1	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 45.5	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 36.4
サービス業	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	50.0
建設業	0.0	0.0	▲ 40.0	0.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 20.8	▲ 4.2	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 4.2	4.2	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 12.5
全体	▲ 22.0	▲ 22.0	▲ 16.0	▲ 12.0	▲ 16.0	▲ 12.0	▲ 16.0	▲ 10.0	▲ 30.0	▲ 26.0	▲ 30.0	▲ 22.0

《収益推移グラフ》

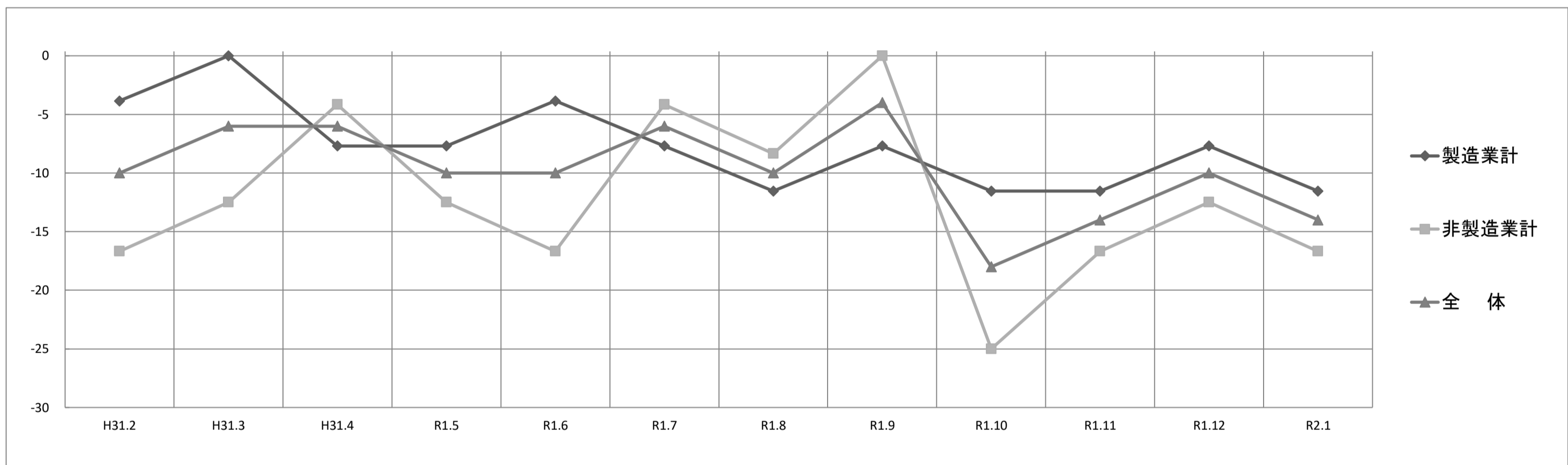


D I 値推移表 (H31.2月 ~ R2.1月期)

《資金繰りの推移》

前年同月比	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1
食料品製造業	0.0	0.0	0.0	▲ 16.7	0.0	▲ 16.7	▲ 33.3	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 5.0	0.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 10.0
製造業計	▲ 3.8	0.0	▲ 7.7	▲ 7.7	▲ 3.8	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 11.5
卸売業	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	0.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0
小売業(商店街含む)	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 27.3
サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 4.2	▲ 12.5	▲ 16.7	▲ 4.2	▲ 8.3	0.0	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 16.7
全体	▲ 10.0	▲ 6.0	▲ 6.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 6.0	▲ 10.0	▲ 4.0	▲ 18.0	▲ 14.0	▲ 10.0	▲ 14.0

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1
食料品製造業	0.0	16.7	16.7	0.0	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 20.0	▲ 35.0	▲ 15.0	▲ 15.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 30.0	▲ 35.0
製造業計	▲ 23.1	▲ 23.1	▲ 11.5	▲ 26.9	▲ 19.2	▲ 15.4	▲ 30.8	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 30.8
卸売業	▲ 75.0	▲ 50.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 40.0
小売業(商店街含む)	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 20.0
サービス業	0.0	▲ 50.0	50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 33.3
建設業	0.0	0.0	▲ 40.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 33.3
非製造業計	▲ 25.0	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 12.5	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 25.0
全体	▲ 24.0	▲ 22.0	▲ 16.0	▲ 18.0	▲ 14.0	▲ 16.0	▲ 20.0	▲ 18.0	▲ 28.0	▲ 28.0	▲ 30.0	▲ 28.0

《景況推移グラフ》

